
IDCFクラウド

活用マニュアル

～画像やHTMLファイルをオブジェクトストレージで公開したい～

目次

(1)APIユーザーの作成.....	2
(2)DragonDiskの設定.....	4
(3)バケット／フォルダの作成.....	5
(4)ファイルのアップロード.....	8
(5)ディレクトリ内のファイルを一括公開.....	9
Column クラウドコンソールからの画像アップロード	
(1)バケット／フォルダの作成.....	12
(2)ファイルのアップロード.....	13

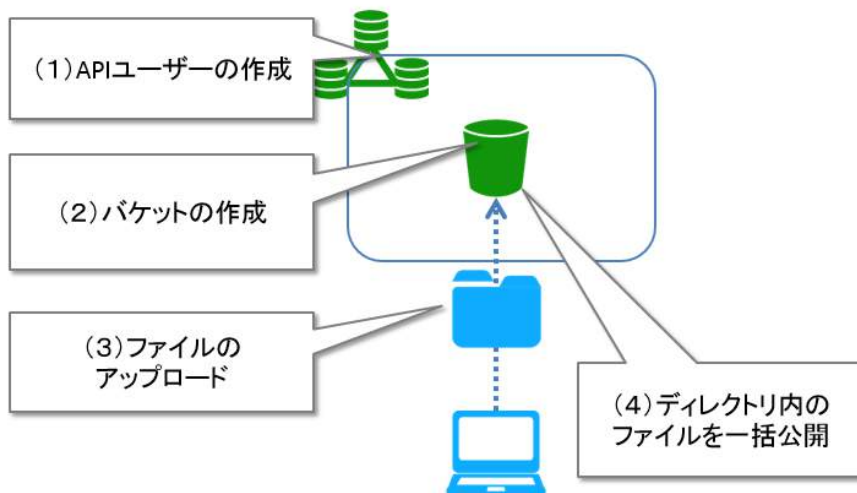


最終更新日：2015/5/29

画像やHTMLファイルをオブジェクトストレージで公開したい

IDCFクラウドのオブジェクトストレージを利用して、ローカルPCにあるファイルを公開します。WebサイトのコンテンツがHTMLなど静的なファイルのみの場合は、Webサーバーを使わなくともオブジェクトストレージのみでWebページを公開することができます。

監修：IDCFフロンティア 藤城拓哉/樋代吉晃



※本目的ではDragonDiskを使ってオブジェクトを公開します。お使いの環境にDragonDiskがインストールされていない場合は、『オブジェクトストレージサービス DragonDisk ご利用ガイド』を参照し、DragonDiskをインストールしておいてください。

(1)APIユーザーの作成

① [東日本リージョン] メニューから [オブジェクトストレージ] を選択します。



- ②左のメニューより [APIユーザー] を選択し、[APIユーザー追加] をクリックしてAPIユーザー名を入力します。APIユーザー名はメールアドレス形式で入力します（実在しないメールアドレスでもかまいません）。



- ③ [OK] ボタンをクリックするとユーザーが作成され、APIキー、シークレットキーが表示されます。これらのキーは、このあとの手順(2)でDragonDiskの初期設定のときに使用します。[close] をクリックしてAPIユーザー一覧に戻ります。



- ④APIユーザーの一覧に追加したAPIユーザー名が表示されます。



※APIユーザー名をクリックすると、作成されたAPIユーザーのエンドポイント、API Key、Secret Keyが表示されます。



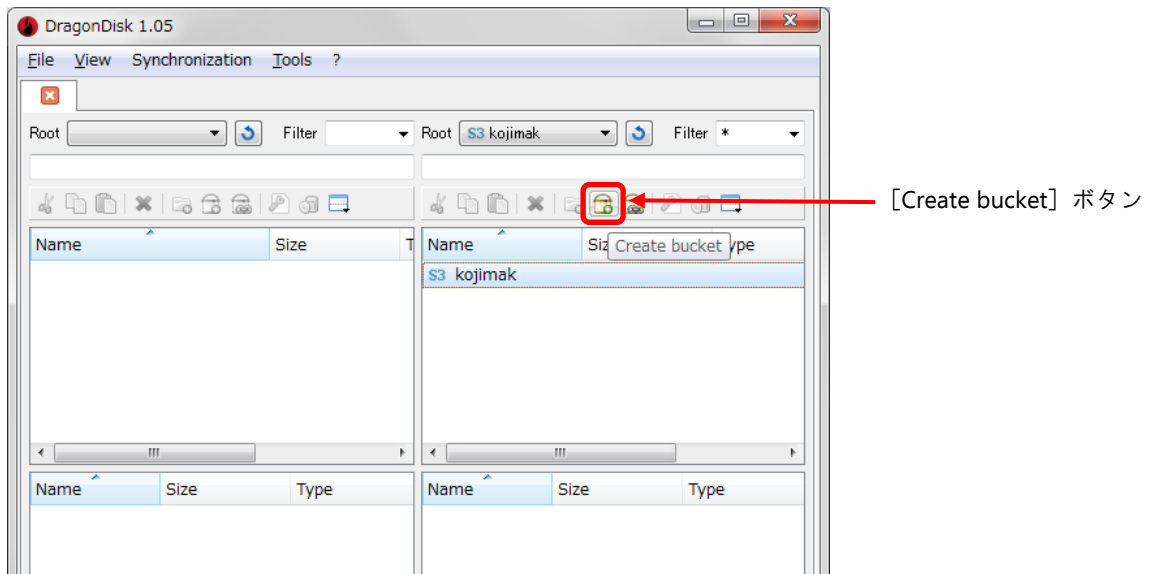
(2)DragonDiskの設定

DragonDiskの初期設定を行ないます。

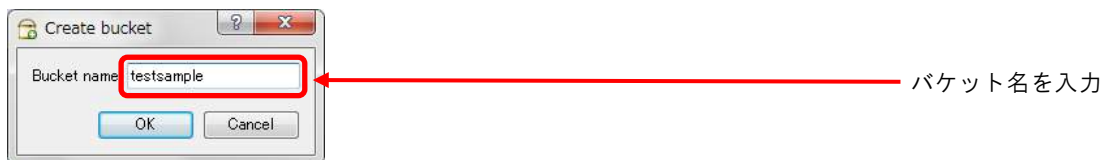
- ①DragonDiskを起動し、メインウィンドウから [File] - [Accounts] を選択します。
- ②「Account」画面で [New] をクリックしてアカウントを作成します。

項目	設定内容
Provider	Other S3 compatible service
Server Endpoint	APIユーザーの「エンドポイント」
Account name	任意のアカウント名（接続先ストレージ名となります）
comment	任意
Access Key	APIユーザーの「API Key」
Secret Key	APIユーザーの「Secret Key」
HTTP Port	80
HTTPS Port	443

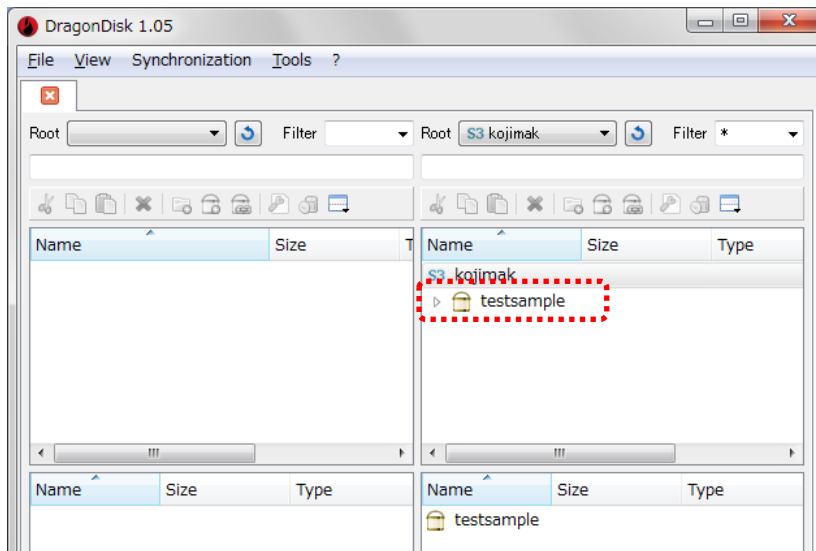
- ② [Create Bucket] ボタンをクリックします。



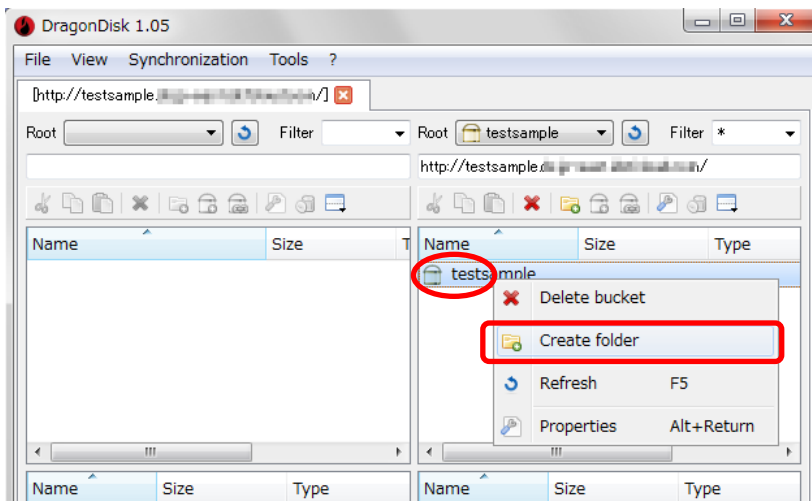
- ③ バケット名を入力して [OK] ボタンをクリックします。



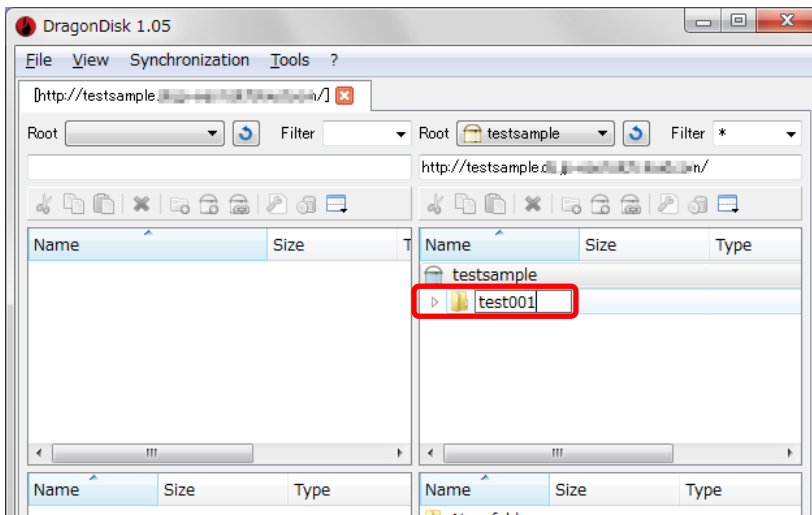
- ④ バケットが作成されます。



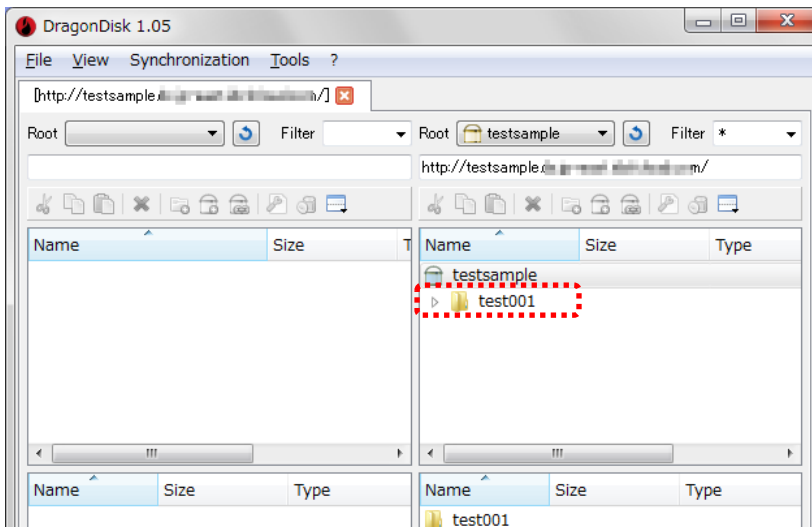
- ⑤ バケットを右クリックして [Create folder] を選び、フォルダを作成します。



- ⑥ フォルダ名を入力します。



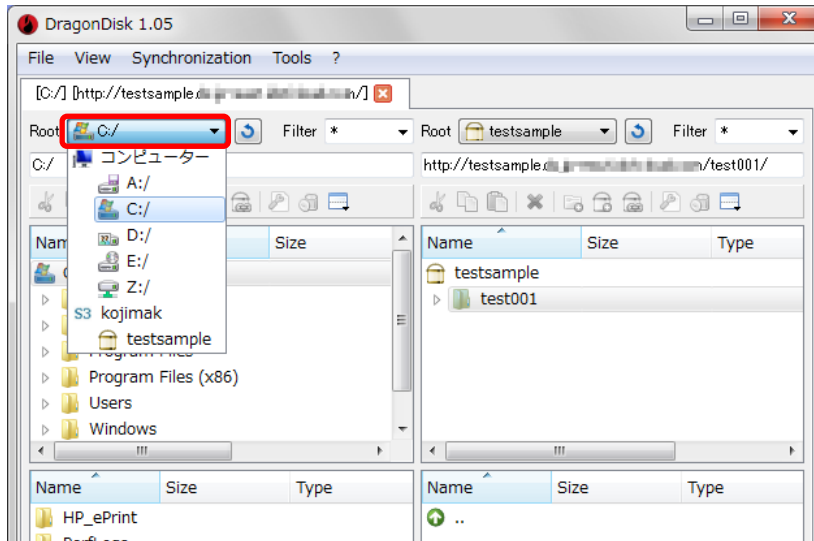
- ⑦ フォルダ名が変更されます。



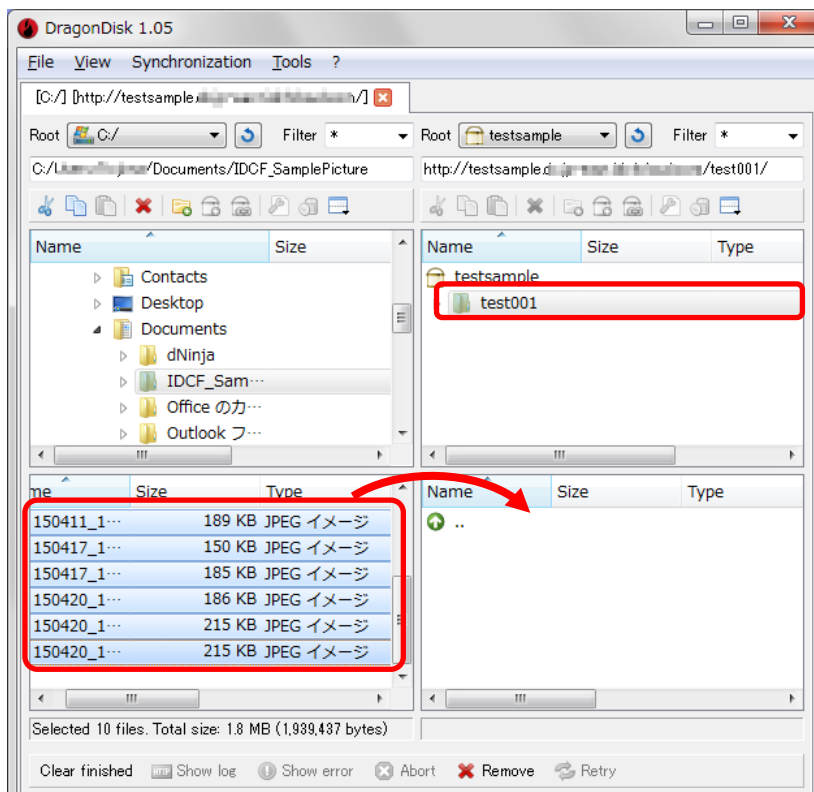
(4)ファイルのアップロード

DragonDiskによってローカルにある公開したいファイルをアップロードします。

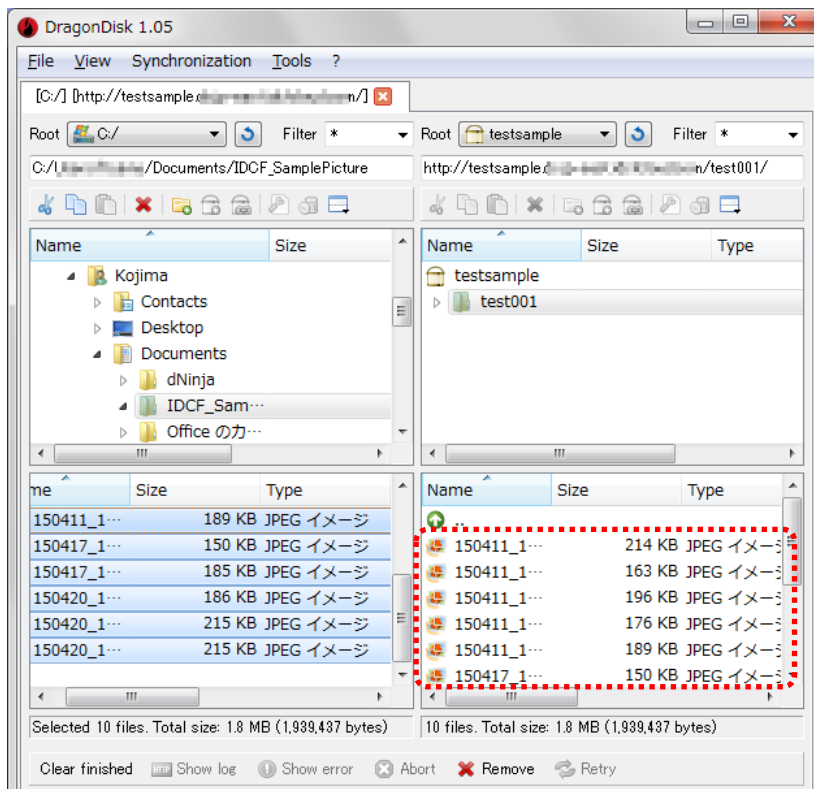
- ①送り元のドライブ、ディレクトリを選択します。



- ②コピー先のフォルダを選択し、アップロードするファイルを選択してドラッグします。



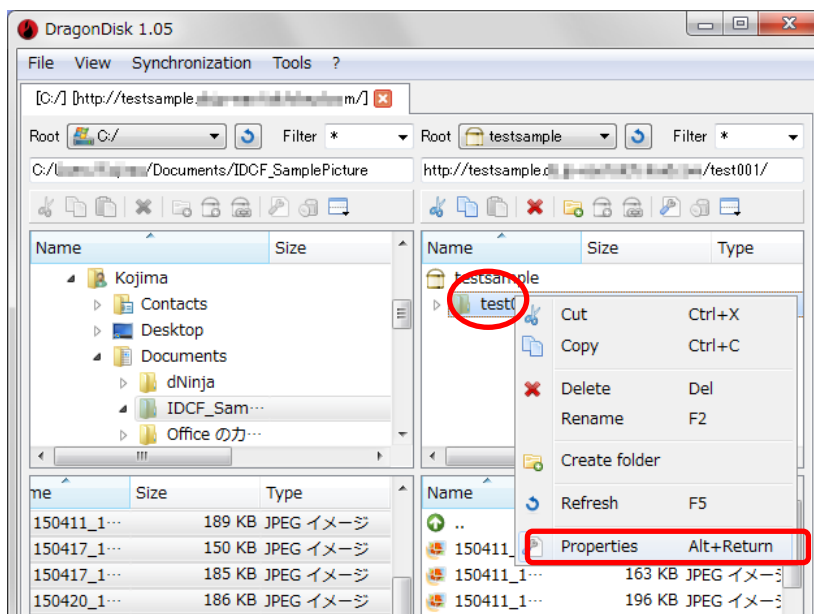
③ファイルがアップロードされます。



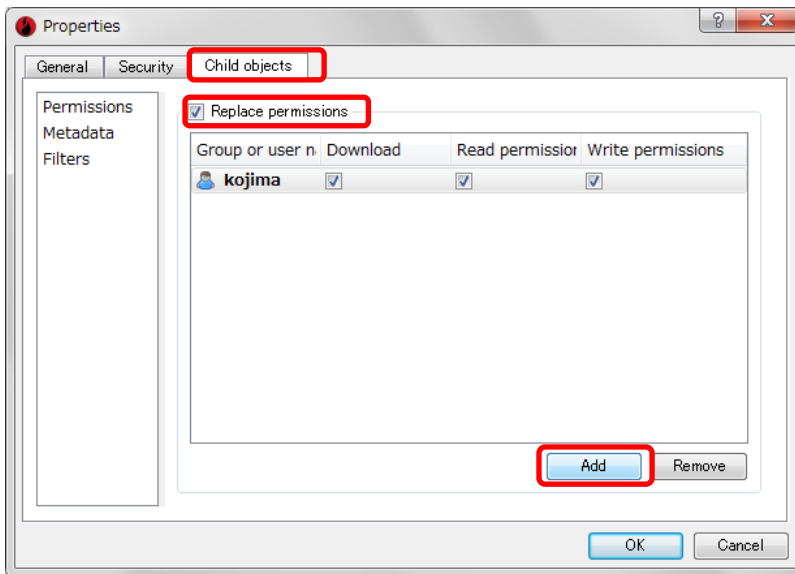
(5)ディレクトリ内のファイルを一括公開

コピーしたディレクトリにパーミッション（権限）を指定し、配下のファイルを開きます。

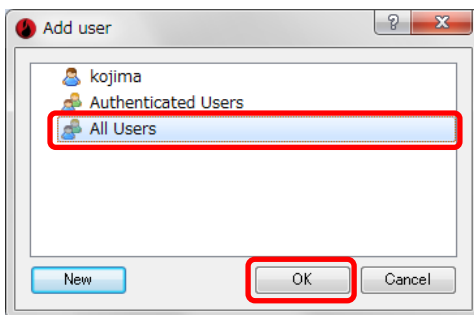
①ディレクトリを選択して右クリックし、[properties] を選択します。



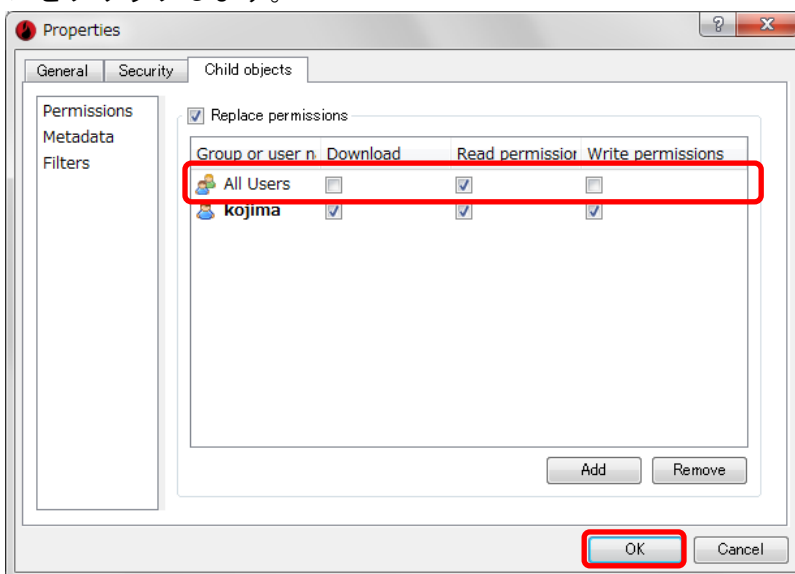
- ② [Child Objects] タブで [Replace Permissions] にチェックを入れ、 [Add] ボタンをクリックします。



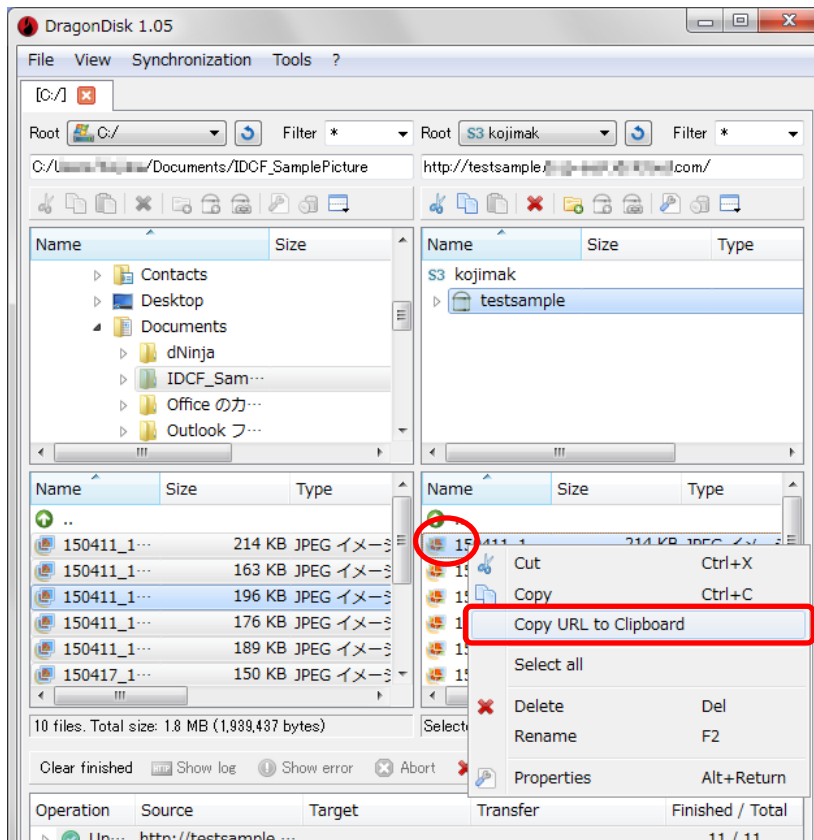
- ③ 追加したいユーザーを選びます。



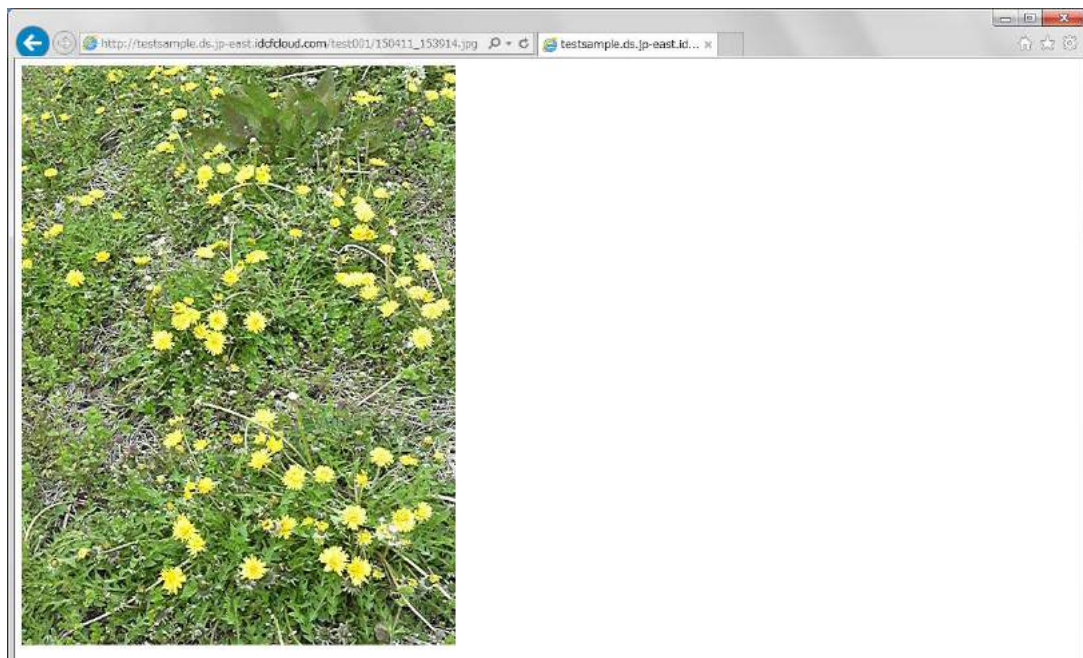
- ④ 追加したユーザーに対して、付与したいパーミッションにチェックを入れて [OK] ボタンをクリックします。



- ⑤コピーしたファイルのどれかを右クリックし、[Copy URL to Clipboard] を選択すると、そのファイルのURLがクリップボードにコピーされます。



このURLをブラウザに入力すると、アップロードしたファイルが表示されます。



Column クラウドコンソールからの画像アップロード

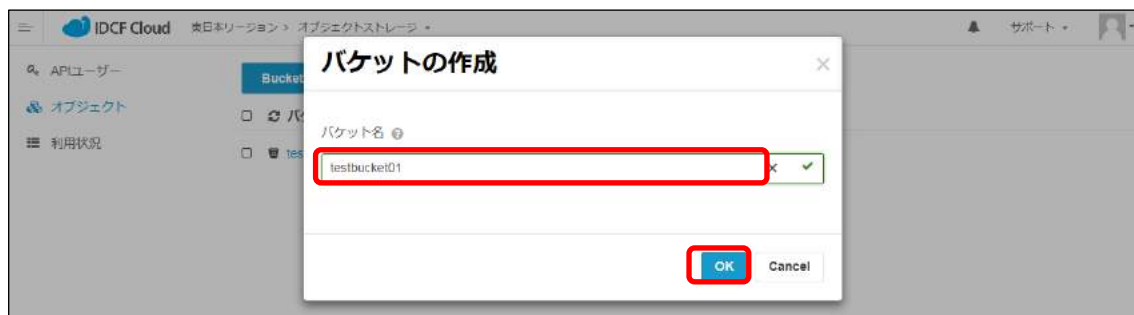
公開する必要のないデータであれば、DragonDiskがなくても、クラウドコンソールからバケットの作成、画像のアップロードができます。ローカルにある画像や動画、大切なファイルのバックアップ用途など、オブジェクトストレージで手軽に安価に保存が可能です。

(1)バケット／フォルダの作成

- ① [オブジェクト] を選択し、[Bucket Action] メニューから [バケット作成] を選択します。



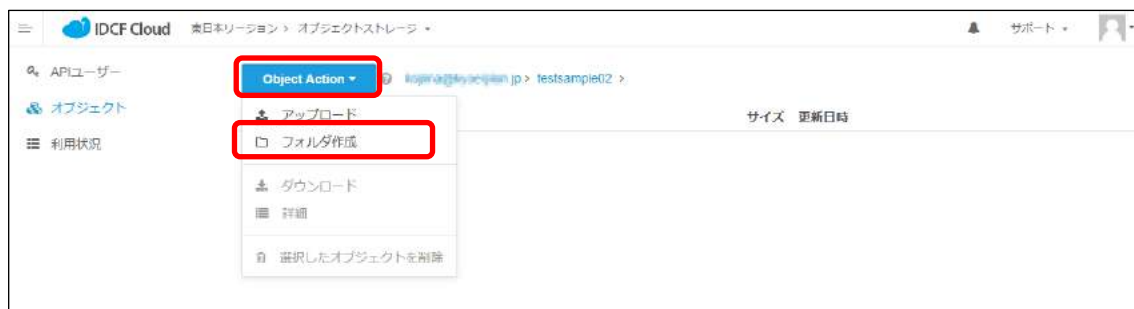
- ② バケット名を入力し、[OK] をクリックします。



- ③ 指定したバケットがバケット一覧に追加されます。



- ④ 作成したバケットを選択し、[Object Action] - [フォルダ作成] を選択します。



- ⑤フォルダ名を入力して [OK] ボタンをクリックします。

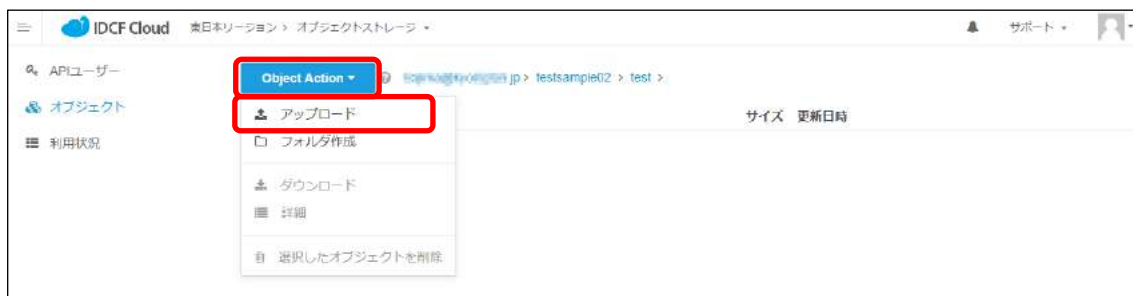


- ⑥バケット「testsample02」の配下にフォルダが作成されます。



(2)ファイルのアップロード

- ①フォルダを選択し、[Object Action] - [アップロード] を選択してローカル環境のアップロードしたいファイルを選択します。



- ②ファイルがアップロードされます。

